

か グ ゃ

# いは賀津也と歩む会

## NEWS ニュース



平成18年7月1日発行

VOL.9  
20,000部発行

### ごあいさつ

日頃よりのご支援に心から感謝申し上げます。

重要な政治課題が山積していた第164回通常国会(150日)は異例の会期延長なしで終了してしまいました。耐震設計偽造問題やBSEをはじめとする食の安全、在日米軍再編問題や防衛施設庁の談合事件では、政府はその説明責任を果たさず曖昧な態度に終始しました。日銀の福井総裁まで巻き込んだ金融証券問題では、自己の“儲け主義”だけに走る日本のモラルの低下を世界に露呈してしまいました。

昨年の衆議院総選挙では小泉自民党が“ワン・イシュー・ポリティクス(ひとつの政策のみを問題化する政治)”で圧勝しました。そして、それは政府における緊張感の欠落を生み、納税者の立場を忘れた行政のツケは国民にまわされました。社会に蔓延するモラルの低下や凶悪犯罪の数々、度重なる官製談合事件、社会保険庁の誤魔化しなどもその顕著な例です。しかし、その責任は野党第一党の民主党にもあることを忘れてはなりません。小沢一郎新代表の下、民主党は更に厳しい目で国政をチェックしなくてはなりません。

今必要なのは政権の交代によって生まれる政治の浄化と政治倫理の確立です。そして、それを現実的なものにするために最も重要なのが、来春の統一地方選挙と夏の参議院選挙です。特に参議院はわずか15議席で与・野党が逆転します。私自身、次期参議院選挙で二期目の挑戦をする当事者として、静岡での議席を勝ち取る決意を新たに、初心を忘れず「常に挑戦」の気持ちでこの一年間を努力していく覚悟です。「お願いする選挙」から「約束する選挙」へと、皆様方の今までのご支援に感謝の気持ちを忘れず、全力で駆け抜けていきます。今後とも、ますますのご指導をよろしくお願いいたします。



参議院議員 植葉 賀津也

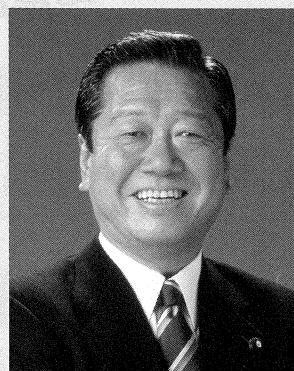
### ごあいさつ

日本はいま、政治・経済・社会の大きな変革期を迎えております。政治においても自民党政権の限界が様々な形で表面化しています。自民党による政治を終わらせ、政権交代を実現することこそ、政治における本当の改革となるものであり、なんとしても実現しなければなりません。民主党に協力して下さる皆様と一緒に全力を尽くすのが我々の使命と考えています。

植葉議員は、中東という国際政治における重要な地域の専門家として、また、党の「次の内閣」の防衛副長官として、外交・防衛分野における中心的な役割を果たしています。また、教育こそ国の礎(いしづえ)であるという信念の下に、新しい世代の育成にも熱心に取り組んでいる期待の人物でもあります。

来年の参議院議員選挙が日本の将来を決めます。民主党による政権交代を実現する第一歩として、参議院で過半数を獲得しなければなりません。皆様からの絶大なる後押しにより、植葉君を再び勝利に導いて頂けますよう一層のご支援をお願い申しあげます。

一緒にがんばりましょう。



民主党代表 衆議院議員 小沢 一郎

## 1/29(日) 第1回グラウンドゴルフ大会



しんば賀津也と歩む会主催のグラウンドゴルフ大会。良いお天気に恵まれ、200名の参加者の皆様とともに12ホール3ラウンドを和やかに楽しくプレイさせて頂きました。終了後に頂いた役員の方の手作りの甘酒は、最高においしかったです。



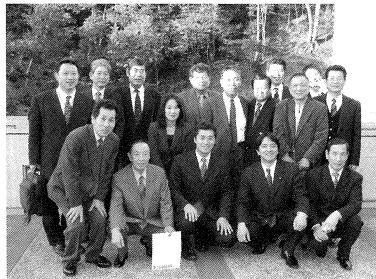
## 2/3(金) 旧小笠町支部 新年会



恒例となった新年会。参加の皆さんから様々な地域の問題点を伺う機会を得ました。

2/24(金)  
国会見学&世界らん展  
日本大賞2006日帰りツアー

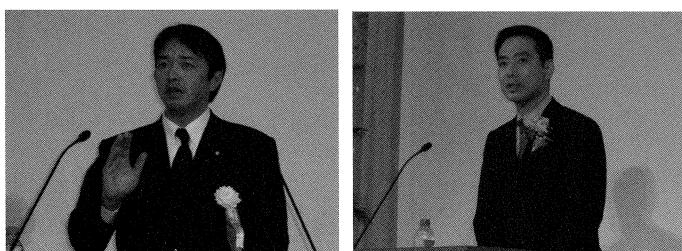
国会議事堂の前で、参加者の皆様と記念撮影。世界らん展では、蘭の美しさに感動。今年は都庁にも寄ってきました。

3/4(土)  
第5回総会・国政報告会開催

菊川文化会館「アエル」大ホールにおいて、約1000名の方がご参加する中、細野豪志衆議院議員をお招きして国政報告会を開催いたしました。

## 3/24(金) しんば賀津也「2006政治セミナー」

ホテルアソシア静岡ターミナルにおいて、しんば賀津也「2006政治セミナー」を開催しました。県内外各地から約600名の方のご参加を頂きました。民主党前代表原誠司先生の基調講演に続き、しんば議員からは自衛隊の情報流出問題を中心とした国政報告をさせて頂きました。

4/8(土) 拡大役員会  
【磐田市・御前崎市・掛川市・菊川市・袋井市・森町】

第21回参議院選挙に向けて、拡大役員会を開催。しんば議員が、2期目に向け、力強い決意を語りました。

6/4(日)  
わたなべ周・しんば賀津也in西伊豆国政報告会

わたなべ周衆議院議員との国政報告会を西伊豆町で開催。細野豪志衆議院議員も応援にかけつけ、国政報告、少子化問題などのテーマでパネルディスカッションを行いました。

# しんば賀津也と歩む会～大きくウェーブ～

## ～第21回参議院議員選挙に向け始動～

## 連合静岡 第21回参議院議員選挙(静岡県選挙区) 推薦決定

5月17日、連合静岡より第21回参議院議員選挙に向けての推薦を頂きました。

来年夏の参議院議員選挙に向け「常に挑戦!」の気持ちで、精一杯活動していく所存です。これからの1年間、皆様の声を力に全力でがんばります。

## ◆お知り合いをご紹介ください◆

しんば賀津也と歩む会では、一大決戦となる来年夏の参議院議員選挙に向けしんば議員の政策、活動記録が掲載されているリーフレットを作成しました。より多くの方々にしんば議員の政策や政治にかける想いを知っていただければと考えております。ぜひ一人でも多くの皆様のお知り合いの方にお渡しいただきたいと思います。リーフレットには、紹介カードが入っております。県内全ての市と町が選挙区ですので、皆様のお知り合いの方へ、ご支援の輪をお広げくださいますようご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。





参議院外交防衛委員会の筆頭理事という職にあり、野党側の代表者として与党との交渉や、民主党内の調整に奔走して、委員会の議事運営を取り仕切っています。地球規模の問題から、県民の声を聞くことまで、2006年前半の「世界のSHIMBA 日本の榛葉 静岡のしんば」の活躍ぶりをご覧ください。

### 政 府開発援助(ODA)の成果を確認するため ミャンマーとベトナムを視察 1月5日～11日

国会閉会中の期間を利用して、渡辺周衆議院議員とともにミャンマー（旧ビルマ）とベトナムを訪問しました。現地では、日本国民の税金によって行われている政府開発援助(ODA)の事業の現場を視察しました。とくにミャンマーでは北部の中国国境近くまで赴き、ミャンマー・中国間の活発な交流の実態も確認しました。



### 文書小委員会委員長として 国会図書館の予算を審議 1月19日

国立国会図書館の予算や人員を国会側から管理するのが「図書小委員会」です。委員長のしんば議員はこの日、国会図書館の予算について質疑・採決を執り行いました。国会議員の立法活動に役立てるだけでなく、すべての国民が研究などに使用できる国会図書館は、まさに国民の知的財産です。この知の遺産を次代に引き継いでいくことの重要性を噛みしめながら、委員長席に座りました。



### 予 算委員会で首相・防衛庁長官に対して 自衛隊の情報流出を追及 3月17日

ファイル交換ソフトWinny（ウィニー）による情報流出が大きな社会問題となりました。自衛隊からも国家の安全に関わる重要な情報が流出していることが確認されました。しんば議員はこの問題を予算委員会で取り上げ、小泉首相と額賀防衛庁長官を追及しました。しんば議員に追及された小泉首相は、「大変遺憾なことだと思っている」などと答弁。また額賀長官も、「まことに安全保障上、重大な事件だ」と答えて事件の重大性を認めました。質問はNHKでは全国中継され、各マスコミでも取り上げられました。



### ブラジルとの「犯罪人引き渡し条約」締結に向けて

日本に住む外国人が増えるに従い、外国人による犯罪も増えています。静岡県内でも、99年に落合真弓さん（当時16才）がひき逃げで亡くなった事件の他、昨年は山岡理子ちゃん（2歳10ヶ月）も交通事故で、三上要さん（57）は強盗殺人でいずれも亡くなっています。これらの事件の犯人と判明しているブラジル人は、犯行後ブラジルへ帰国してしまいました。日本の法律が適用できないブラジルでは、犯人とわかっていても逮捕することができません。このような犯罪者を日本の法律で裁くための第一歩として、ブラジルと犯罪人引き渡し条約を結ぶ必要があります。

### 外 交防衛委員会で 外国人犯罪者の問題 4月20日・5月16日

しんば議員は湖西市の池田好郎市議と連携をとつていち早くこの問題に注目し、4月20日の外交防衛委員会でこの問題を取り上げました。さらに5月16日の委員会でも、3件の犯罪に対する政府の取り組み姿勢について麻生大臣に質問しました。



### ラジオTV局の取材 6月8日

ブラジルの人々に日本で起こっている問題を知ってもらうのも重要です。この日は犯罪人引き渡し条約について、ブラジルのテレビ局の取材を受けました。リポーターのカタリーナ・ホンさんの質問に対して、日本におけるブラジル人犯罪の現状や外務省によるブラジルとの交渉について説明しました。



### 千葉7区補選で街頭演説 4月17日

小沢代表の下、初めての国政選挙となった衆議院千葉7区の補欠選挙の応援にかけつけました。「まじめにひたむきに、1円の税金もムダにしない政治」、「金権政治ではなく、天下りのない、緊張感のある政治」をめざして全力をあげていく決意を訴えかけました。民主党所属議員一丸となり、そして多くの方のご支援を頂き、民主党の太田和美候補は当選を果たすことができました。



### ア ナン国連事務総長との懇談 5月17日

大島国連大使の昼食会に同席し、来日していたナン国連事務総長と懇談しました。その席で様々な話が出されました。最大の話題はやはり国連改革でした。日本の常任理事国入りが注目されている安全保障理事会だけでなく、国連組織全体の改革が必要であるというナン氏の話を伺いました。



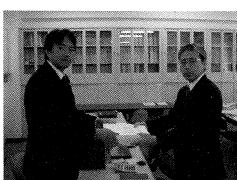
### 欧 州議会議員との懇談 6月8日

ヨーロッパ25か国が加盟する欧州連合(EU)の議員団が来日し、参議院の外交防衛委員会のメンバーと懇談を行いました。欧州連合の議員からヨーロッパ諸国が調停に努力しているイランの核開発問題について話を聞く一方、日本側からは北朝鮮のミサイル・核開発や拉致問題について説明をしました。世界が抱える諸問題について来日議員団と意見交換するこのような機会をしんば議員は大切にしています。



### 条 約締結を求める請願を提出 6月12日

ブラジルとの犯罪人引き渡し条約の締結を求める請願と署名5千人分を参議院議長宛に提出しました。この請願ではブラジルとの犯罪人引き渡し条約の締結を求め、条約締結までは、ブラジルに逃亡した犯罪者をブラジルの法律で裁いてもらうこと（代理処罰）を求めていました。請願は6月15日の参議院外交防衛委員会に提出、翌16日の本会議でも全会一致で承認されました。



### 麻 生大臣に申し入れ・署名提出 6月16日

条約締結の申し入れのため、外務省に麻生外務大臣を訪ねました。その際、静岡県内から上京した山岡さん、落合さん、三上さんのご遺族も同行されました。麻生大臣に条約締結のための外交交渉を求めるとともに、みなさんが集めた、81,400人分の署名を手渡しました。



# 賀津也の部屋

## 現在こんな活動しています

(H18.6現在)

### 所属委員会

外交防衛委員会委員(筆頭理事)  
議院運営委員会委員・図書小委員会(委員長)

### 党職

国会対策委員会委員長代理  
民主党ネクスト防衛庁副長官  
文化団体局次長  
スポーツ団体局次長

## 国会でこんな質問しました

(H18.1~6)

### ■予算委員会<NHK中継入り>

- 3月17日 自衛隊における情報流出問題について質疑に立ちました。詳しくは前ページの「しんば賀津也の東奔西走」をご覧ください。

### ■外交防衛委員会【筆頭理事】

- 3月22日 予算委員会に引き続いで、自衛隊における情報流出問題について質疑に立ちました。自衛隊における情報管理について問い合わせましたが、残念ながら政府・防衛庁から十分な回答は得られませんでした。また、米国とインドの間で進む原子力の技術協力の問題と、日本とオーストラリアの関係についても質問を行いました。
- 4月 4日 日本と英国、日本とインドの間の租税条約について質問を行いました。例えば日本人がインドの会社に投資をして利益を得た場合、インドと日本の両方から課税されてしまいます。そこで、税金を軽減、あるいは免除しようというのが租税条約です。途上国との条約では相手国に一定の配慮が必要だということを訴えています。
- 4月20日 外国人犯罪人引き渡し条約について、外務大臣をはじめとする政府に見解を求めました。詳しくは前ページの「しんば賀津也の東奔西走」をご覧ください。
- 5月16日 日韓刑事共助条約について、外務大臣をはじめとする政府に見解を求めました。静岡県内で発生した落合真弓さん、山岡理子ちゃん、三上要さんの事件に関するブラジル国内法における時効について、外務省に確認を求めました。また、3月17日の予算委員会において十分な対策を行うと小泉首相・額賀長官が明言しながら再び発生してしまった自衛隊の情報流出について、再度長官を追及しました。

5月22日の参議院本会議場。大阪選出の山本孝史議員が民主党を代表して質問に立った。演壇に立ち、一礼をした氏は、淡々と、しかし凜とした口調で語った。

「私自身、がん患者として質問に立たせていただく」氏はなんと、自らががん患者であることを告白したのだ。頬は痩せ、顔色も良好とはいえないが、命を懸けて現在の医療制度の問題を指摘した氏の質問は、内容、気迫とともに圧巻だった。

がんは日本人の死因の31%を占め、年間30万人ががんで亡くなっている。私の父も6年前、腎臓がんで他界した。「がん患者は先のことが考えられないつらさと向き合い、一日一日を大切に生きている」。氏は訴えた。「がんは最も身近な病気だ。しかし、がん治療には地域格差、施設間格差があり、治療法があるのに『もう治りません』と見放された『がん難民』が日本列島をさまよっている…」

「当事者の訴え」の重みを信じ、公表を決意した山本議員は「やれることは、その時やれる人がやらないと。たまたまがん患者として国会にいる私が、この場でできることをしただけ」という。

氏のような国会議員と同じ政党で立法作業に携わることを、心から誇りに感じた。情けなかったのは、命がけの質問に対する総理の答弁が、官僚の書いた原稿をただ棒読みただけであったことだった。

平成18年度党员・サポーターのご登録を頂きありがとうございました。

短い期間にも関わらず、関係各位に多大なるご協力を頂き、目標人数を大きく上回る実績を上げることができました。心より感謝申し上げます。



私の受けた榛葉先生の第一印象は、爽やかで、嫌味のない低姿勢さ、そして、昔から知り合いだったような錯覚に陥るほど「親しみの持てる人」でした。先日お会いさせて頂いた時も、地域の問題や少子化のことなど、本当に解りやすく、親身になって話をして頂き、感銘を受けるのはもちろんのこと、榛葉先生がこの選挙区でよかったとつくづく思いました。今後、先生の益々のご活躍を願い、これからも是非応援させていただきたいと思います。

西伊豆町 星野 淨晋

私は、榛葉議員の好きな所は同じ目線で話をしてくれる事や、他の議員さんと違い一般の人に対しても分かり易く説明して頂ける所、そして若い人達に政治をより興味を持って貢う為の熱意がとても好印象です。現在の日本の格差社会、北朝鮮問題、靖国問題、課題は数たくさん有ると思うが、榛葉議員なら我々の期待に必ず答えてくれると私は期待しています。がんばれ榛葉議員!

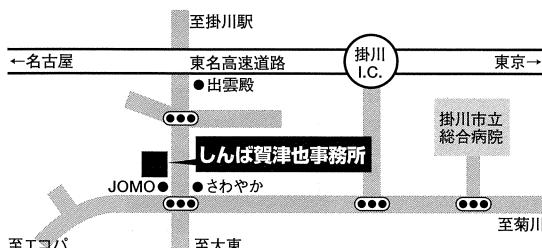
浜松市 伊藤 喜章

## 編集後記

いよいよ来夏の第21回参議院選挙に向け、しんば賀津也と歩む会の活動も選挙まで残り1年を切り、ラストスパートの時期に突入しました。今後も走るしんば議員をどこまでも追いかけて、より多くの活動を掲載してまいります。皆さんからのお写真、コメントなどを募集しておりますので、どしどしお寄せください。

〈編集委員一同〉

『しんば賀津也と歩む会』会員募集中! わたしたちと一緒に榛葉賀津也の政治活動を支えていただける方を募集しています。詳しくは事務所までお問い合わせください。



発行者

## しんば賀津也と歩む会

〒436-0022 静岡県掛川市上張862-1 FGKビル TEL 0537-62-3355 FAX 0537-62-3356

E-mail:go@k-shimba.com

<http://www.k-shimba.com>

発行責任者:会長 松下知生

しんば賀津也と歩む会NEWSのお問合せは、榛葉事務所・事務局 市野まで